

ダイオウ末の分析 ー日本薬局方ー

Analysis of Powdered rhubarb

ダイオウはセンノシド A が主成分であり、第十五改正日本薬局方では、ダイオウ末中のセンノシドAの定量法において HPLC が使用され、センノシドA、ナリンギンの順に溶出し、その分離度が 3 以上である ODS カラムの使用が指定されています。今回は **L-column2 ODS** を用いて試験を行った結果、分離度は 8 と上記の条件を満たしていました。第十五改正日本薬局方の抽出条件でダイオウから抽出した試験溶液の分析でも良好な分離が得られました。センノシド A には金属配位性があり、カラムの選択には注意が必要です。

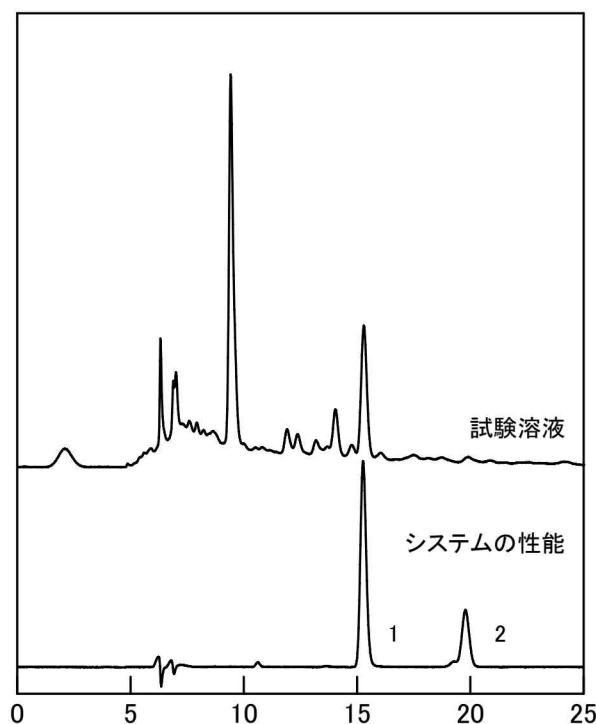
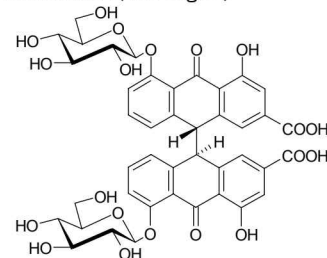
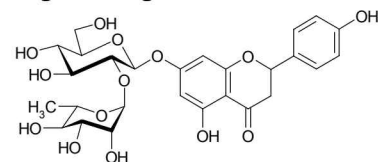


Fig. Chromatogram of Powdered rhubarb

1. Sennoside A (100 mg/L)



2. Naringin (100 mg/L)



(in NaHCO₃ (1→1000))

【Analytical conditions】

Column: **L-column2 ODS** (C18, 5 μ m, 12 nm) 4.6 mm I.D. $\times$ 150 mm L.
Mobile phase: CH₃CN/CH₃COOH (1→80) (20/80)

Flow rate: 0.3 mL/min
Temperature: 40°C
Detection: UV 320 nm
Injection volume: 20 μ L
System: -